

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2009年12月25日 第39号
 Tel & fax 591-5522
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

2009年を振り返って・・・2010年を展望する

9条の会・北九州憲法ネット
 代表世話人座長 荒牧 啓一

昨年8月30日に行なわれた第45回総選挙では、戦後長きにわたって第1党を占めてきた自民党が惨敗し、連立してきた公明党も大敗しました。そして、民主党鳩山政権が誕生しました。この劇的政権交代を生んだ選挙結果は、自公連立政権の構造改革路線に対する国民的な断罪、ノーの意思表示です。小泉政権のもとで加速された新自由主義路線は、経済格差・地域格差・教育格差などを拡大し、昨年の世界的規模の経済恐慌とあいまって社会的弱者の生活を根底から破壊する結果になりました。市場競争万能の構造改革への国民の怒りこそが、政権交代を実現した最大の原動力でした。

民主党のマニフェストには「暮らしのための政治」のスローガンがあり、「子ども手当て」「公立高校無償化」「年金制度改革」「医療・介護再生」「農業の個別所得補償」など社会民主党と見間違えばかりの政策が掲げられています。

しかし、民主党の代表者、幹事長の小沢一郎氏は、90年代新自由主義の旗頭であり、民主党議員の少なくない部分が小泉構造改革路線に賛同していたのです。

憲法の関係でいえば、自民、公明、民主、国民新党などの超党派の国会議員、元議員で作る「新憲法制定議員連盟」所属の衆院議員が多数落選しました。

衆議院議員139名が53名になりました。大変喜ばしいことではありません。



しかし、鳩山首相自身は、「新憲法制定議員連盟」の顧問です。そして、鳩山首相はその著書「新憲法試案」（2005年）では、「憲法9条2項はもっとも欺瞞的のものである。」と非難し、これを改めて「自衛軍保持」を明記し、海外での武力行使、集団的自衛権の行使を認めるとしています。そして驚くべきことには、新しい憲法では、明治憲法を引き継ぎものであることを明記し、天皇を元首と断言しています。

勿論このような個人的見解を出せない状況ではありますが、われわれ国民の監視がなければ、国民の運動がなければ、いつ改憲策動を始めるか分かりません。

もうひとつ、民主党のマニフェストの中で危険なものがあります。「無駄遣い根絶」を理由に衆院比例代表議席の80削減を掲げられていることです。

昨年の総選挙、民主党が308議席を獲得

して圧勝しましたが、得票率は小選挙区では47・43%、比例代表42・41%で、民主党の得票は50パーセントに達していません。前回の郵政選挙で惨敗したときの得票率を11パーセント上積みしたに過ぎません。ここに小選挙区制度の虚構がありますが、比例代表議席の策動は非常に危険です。

政権発足して4ヵ月、期待と不安が入り混じった中で、新年早々通常国会が始まりま

す。年金などの社会保障制度の改革、雇用問題、官僚主導からの脱脚、税金の無駄使いの是正、米軍再編と沖縄普天間基地移設の問題など課題は山積みです。

日本の政治の「新しい時期」を切り開いた国民の力に依拠し、暮らしと平和を脅かす策動を許さず、憲法の理念を私たちの暮らしと生活のなかに実現していく努力を今年もともに積み重ねていきましょう。

憲法は守るものでなく、機能させるもの！

----- 9条の会交流会で斉藤文男氏が講演 -----

福岡県9条の会連絡会主催「9条の会交流会」が12月5日、福岡市の弁護士会館で開かれました。基調講演は斉藤文男氏（九大名誉教授）が行いました。（北九州憲法ネットからも2名参加しました。）



斉藤氏は「民主党政権で、憲法改正はどう進むか？」と問題提起して、同氏の論を進めました。結論的には「憲法の条文改正は正面からは出来ない。しかし、”なし崩し”的な9条の実質改憲の方向に進む」としました。

条文改正ができない根拠を斉藤氏は①連立政権であること。②民主党内の世論にも9条改正反対がある。③国民世論の動向。④改正手続きに時間がかかり、米国の圧力に間に合わない。事を挙げました。そして、民主党政権がとると予想される「搦め手作戦」は、9条の解釈を変更する「立法改憲」、防衛大綱の制定等での「行

政改憲」、日米同盟の深化などの「外交改憲」が考えられると説明しました。

「9条の改憲の米国からの圧力は、オバマ大統領となっても変わらず、ブッシュ大統領の対日政策ブレーンがひきつづき、オバマ政権の対日政策推進の中心に座っている。日本の自衛隊を世界中に出かけていける方策が今後も推進されるだろう。」と見通しを語りました。

そこで、「私たち憲法を守り発展させる勢力の役割はどうあるべきか？」へと話が進みました。斉藤氏は、条文改正反対中心の運動から、「日米同盟強化反対！」を重視した運動への展開を呼びかけました。もちろん「9条の会」はずそ野が広い運動体であり、貴重な運動を今後も続けることが必要だが、運動の原点を“非戦”・・・戦争を輸出しない、少なくとも米軍と一緒に出ていくことを阻む事に置くことを訴えました。そして「9条を生かして、機能させる」ことの重要性の認識を広めることを指摘していました。

引き続き、各地の9条の会の交流会に移り、最後に来年4月3日に、「9条の会福岡県連絡会5周年のつどい」が開かれること、この取り組みに、各地の9条の会も奮闘する事を確認して、閉会しました。

森先生の示唆に富んだ講演を、深く頷きながら聴きました

こうじゃく9条の会は、発足以来例会を欠かさず開いています。51回目となる11月19日の11月例会では、今年の9条の会・北九州憲法ネット総会での森英樹先生の記念講演「9条・生活を壊す『壊憲』にどう対抗するか―政権交代と憲法のゆくえ―」をMDで聴く例会を開いています。その報告文書が寄せられましたので、紹介します。

---こうじゃく9条の会 12月例会報告---

葉山 隆記

北九州市民の私たちにはなじみの薄かった著名な憲法学者森英樹先生。

しかし、いつもの大原市民センターの毎月の例会の部屋で聴く教授の声は明るく、内容は示唆に富んでいました。

革命的ともいえる「政権交代」を高く評価しながらも、鳩山内閣のもつ9条を改悪し、「戦争のできる国」にする危険性を鋭く指摘され、同時に、軍事産業に支えられた「戦争国家」アメリカ経済の恐ろしさも、強調されました。

大きな会場で聞く講演会と異なり、小ルームで聞く先生の明晰な内容に、参加者は深くうなづきあいました。このMDを多くの”9条の仲間”に聞いてほしいものです。



教も楽しく笑顔いっぱい 「九条まもるぞ」

---折尾9条の会第5回総会---

去る12月12日（土）、「折尾九条の会」の第5回総会を開催しました。35名の方々の参加をいただき、予定通り修了しました。年末の気ぜわしい中、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

総会は竹下会長の「三輪先生のお話を楽しみに来ました。今後のこの会の方針についてはぜひ積極的にご意見を出してください。」との挨拶のあとすぐに講演に入りました。三輪先生は、北九州憲法ネットを代表しての来賓挨拶もそこそこに、お話を始められました。先生のバイタリティは衰えを知らず、いつものように楽しそうに、そして分かりやすく『平和（9条）と暮らし（25条）はどうなる』と題してご講演くださいました。1時間半に及ぶお話はあっという間に過ぎた感じで、先生は話し足りない、私たちはもっと聞きたい思いのする講演でした。（中略）

「憲法九条を守る」ということは日本の国が戦

争をしないということがはっきりしているわけですから、とりあえず「平和」といえますが、本当に平和な社会とは、国民が豊かに安心して暮らせる社会のことです。自民党が推し進めた新自由主義・構造改革は資本家に金儲けができやすくさせる一方で、公的であるべき教育や福祉や医療の分野に、本来なじまない競争原理を導入したために、この国は格差社会・自己責任社会へと大きく転換しました。それは命と暮らしを破壊しました。働いても働いても生活保護水準以下の収入しか得られない、ワーキングプアといわれる若者が続出しました。今こそ豊かな福祉社会を実現しながら経済は安定成長を持続している北欧諸国に学びながら、憲法擁護（恒久平和、豊かなくらし、人権擁護）の道を外れないようにみんなで力を合わせて頑張っていきましょう。楽しく九条を守る活動を続けましょう。

カンパ有難うございます。そして、お願い。

「九条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号:01700-8-115768 名義:「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 10月 野瀬秀洋 丹下徹 銭谷十九雄 中川紘子 中村昌之 柴田武一郎 原田祥昌 渡辺末子 小沢和秋 松涛秀道 石橋眞智子 古賀三千人 原田紀子 尾鶴眞 玉井史太郎 諸岡昭三郎 山田成人 前野宗俊 豊福直美 藤井利秋 小川由美 松井岩美 松井玲子 島内弥七 有馬和子 宗田嘉昭 竹中久 桑田勲二 安達恵美子 藤川勝正 稲津征雄 稲津克子 日下部恭久 佐多道人 末次美智 樋口コスエ 有働隆義 森田禮三 **11月** 小林勝敏 小林千里 浦野昂 多加喜悦 男 谷原勝義 高瀬菜穂子 **12月** 中村昌之 浜口紀美子 丹下徹 野瀬秀洋 佐多道人 江本信義 塩塚茂嘉 藤川勝正 新地美智子 川上誠一

メッセージ ●憲法講演会資料早速送って頂き有難うございました。10月初旬行われた東京に於ける憲法講演会の杉原泰雄講演のテープが入手できればお知らせ下さい。10/13 N.M ●新しい政権誕生の中で、憲法九条を守る運動が大きく飛躍できる条件も出来たと思います。地域での九条の会の発足に努力したいと思います。10/15 W.S ●民主党政権になって、九条をめぐる情勢も違って来たと思います。お互いがんばりましょう。10/15 O.K ●記念講演、森先生の話良かったそうでお席しなかって申し訳ありません。体力がおとろえて体調を考えながら生活しています。お世話していただいている方がたにお礼申し上げます。10/15 K.M ●さまざまな歴史を経れど明日をめざすたたかひの下に集う仲間よ～ともがんばりましょう 10/16 T.F ●通信費用カンパ 10/16 Y.S ●体を大事に頑張ってください 10/19 F.T ●少額で申し訳ありません。温度差の激しい毎日です。どうぞお身体ご自愛下さい 10/19 O.Y ●少ないですが、会費的カンパとして。ニュースを送付していただければ、幸いです。10/23 K.Y ●カンパとして 10/26 S.M ●ご苦勞様です。少しですが御送り致します。10/27 U.T ●活動募金 10/29 M.R

9条の会福岡県連絡会 5周年記念 音楽と講演のつどい

日時 2010年4月3日(土) 場所 福岡国際会議場

- ・管弦楽の演奏 九州交響楽団有志
- ・憲法を地元から語る 斉藤文男氏
- ・九条を世界に高らかに
今、日本人が世界に発すること
小森陽一氏 全国九条の会事務局長



小森陽一氏

- ・財界人が呼びかける九条を世界に
品川正治氏 経済同友会終身幹事



品川正治氏

- ・国民のいのちと健康を守れ
山口美智子氏 薬害肝炎全国原告団団長
(折衝中)